提出順	7	発言順	9	令和 5年2月15日 (午前) 午後 10時 50分受領

（3枚中No.1）

令和５年２月１５日

（宛先）安曇野市議会議長　　平林　明

安曇野市議会議員　　内川　集雄

一般質問発言通告書

下記のとおり、通告します。

議会名	令和　５年安曇野市議会　３月定例会		
発言の方法	■一問一答　□一括質問一括答弁	質問時間	２０分
答弁を求める者	□市　長　□副市長　□教育長　□他（　　）		
	担当部長 ■総務部　□政策部　□市民生活部　□福祉部　□保健医療部 □農林部　□商工観光スポーツ部　□都市建設部　□危機管理監 □上下水道部　□教育部　□他（　　）		
質問事項	（自主財源の確保につなげる） 安曇野ふるさと寄附とＪクレジットに関して		

質問の要旨（具体的に記載してください）

【自主財源の確保につなげる 安曇野ふるさと寄附 －1 】

ある意味、私のライフワークである「安曇野ふるさと寄附」。
安曇野市の産業活性化、働く者の雇用・農業等の就労者拡大と自主財源確保を訴え、平成22年6月定例議会に一般質問（平成21年4件 172,000 円）をしてから VAIO（パソコン）、Altus フルート、フジゲンオルゴール等工業製品を提案させて戴いた。平成28年度から令和3年度までの Data で見ると、返礼品に占める工業関係製品等の割合が年ごとに減少している。
そこで「安曇野ふるさと寄附」と安曇野市の更なる Image up および工業製品の梃入れ（てこいれ）を提案する。

① 安曇野市には、VFR 株式会社（VAIO Flying Robotics）のトップレベルのドローンがある。 地場生産拠点の「made in AZUMINO Japan」のドローンを返礼品に。
② ドローンを使用した操縦トレーニング（ドローン操縦のための操縦ライセンス取得２日間）が体験可能な安曇野旅行planを。

②の Image 図

提出順	7	発言順	9	令和 5 年 2 月 15 日 午前・午後 10 時 50 分受領

（3枚中No.2）

令和５年２月１５日

（宛先）安曇野市議会議長　　平林　明

安曇野市議会議員　　内川　集雄

一般質問発言通告書

下記のとおり、通告します。

議会名	令和　５年安曇野市議会　３月定例会		
発言の方法	■一問一答　□一括質問一括答弁	質問時間	分
答弁を求める者	■市　長　□副市長　□教育長　□他（　　）		
	担当部長 ■総務部　□政策部　■市民生活部　□福祉部　□保健医療部 □農林部　□商工観光スポーツ部　□都市建設部　□危機管理監 □上下水道部　□教育部　□他（　　）		
質問事項	（自主財源の確保につなげる） 安曇野ふるさと寄附とＪクレジットに関して		

【自主財源の確保につなげる 安曇野ふるさと寄附 － ２ 】

「安曇野市環境宣言」のなかに謳われている

・身近な暮らしと社会を見つめ直し、資源やエネルギーを大切にした循環型社会を築きます。

「温暖化防止は世界的な課題で、状況は待ったなし。令和32年までに二酸化炭素排出量を実質ゼロにすることを目指し、CN(カーボンニュートラル)を安曇野市は積極的に取り組んでいる。

CN 達成に向けての代替え技術が実装されるまでの移行期間は、クレジットで二酸化炭素排出量を調整する動き（取引する動き）が活発化している。

安曇野市が取り組んだ成果（クレジットの創出）をお金（自主財源）にしてはと、提案する。

✿温室効果ガスを削減した分だけお金になる！

① Ｊクレジットの取り組みについて安曇野市長としての受け止めを伺う。

② カーボン offset 製品（地球温暖化防止に貢献できる、カーボンオフセット商品）の安曇野市の活用状況は。また、市民に溶け込む推進策は。

③ 安曇野ふるさと寄附返礼品の製品等にカーボン offset 製品をメニューに。（地球温暖化防止に取り組む安曇野市の PR も込めオリジナルシール等で特化した製品等）

提出順	7	発言順	9	令和 5 年 2 月 15 日 (午前)・午後 10 時 50 分受領

（3枚中No.3）

令和５年２月１５日

（宛先）安曇野市議会議長　　平林　明

安曇野市議会議員　　内川　集雄

一般質問発言通告書

下記のとおり、通告します。

議会名	令和　５年安曇野市議会　３月定例会		
発言の方法	■一問一答　□一括質問一括答弁	質問時間	分
答弁を求める者	□市　長　□副市長　□教育長　□他（　　）		
	担当部長 □総務部　□政策部　□市民生活部　□福祉部　■保健医療部 □農林部　□商工観光スポーツ部　□都市建設部　□危機管理監 □上下水道部　□教育部　□他（　　）		
質問事項	「帯状疱疹」の予防接種費用の助成についての要望（声）に関して		

質問の要旨（具体的に記載してください）

帯状疱疹ワクチンは、任意予防接種となっている。80歳までに≒3人に1人がかかると言われる「帯状疱疹」の予防接種費用の助成について要望（声）が寄せられることが多くなった。

帯状疱疹ワクチンについては、厚生労働省所管の「厚生科学審議会予防接種・ワクチン分科会予防接種基本方針部会ワクチン評価に関する小委員会」において、予防接種法に基づいて行う定期予防接種として追加を検討するワクチンの１つとして、ワクチンの効果やその持続期間、導入に最適な対象年齢、２種類のワクチンの比較、安全性や医療経済学的評価等について検証、評価が進められているとのこと。

①（集団）特定健診・後期高齢者健診、人間（脳）ドック等受診費用助成があり、尚且つ健康ポイントが付与されている。これでよいのかと、後ろめたい思いで年一度の健診を受けている。

健康ポイントの検討余地があるとしたら、帯状疱疹予防接種の費用助成を行っている自治体もあり、予防接種費用の一部助成について市民の要望（声）を聴いて頂きたいと要望する。